

ジェンダー／セクシュアリティについての基本的な考え方

① 指定されるジェンダー

社会的に付与される性別のこと。出生時に、性的身体の個人的差異が参照されることにより指定されるが、「男」と「女」のいずれかに指定し、いずれかであることを期待するのは、社会的な要請によるものであるため、自然的に形成される身体の差異とは区別して、社会的指標としての「ジェンダー」を用いる。指定されたジェンダーは、公的に身分を証明（IDカードや戸籍など）する情報のひとつとして登録されることで強化される。日本では、特定の条件を満たした者について、希望に応じて戸籍上のジェンダーを反対のジェンダーへ再指定することが法的に可能となっている（付録）。多くの場合男女に二分される概念としての「指定されるジェンダー」は、身体の個人差を十分に説明するものではない。

② 性的指向

どういった性をもつ人に対して性的魅力を感じるか、または感じないかという問題を示す。性的指向には、①「性的に惹かれる」「性的欲求を抱く」こと、②「性行為を行う」こと、③「アイデンティティをもつ（自らの性指向をどのように受け止め、どのように内在化するか）」ことの三つの側面があり、ひとりの個人において、すべて同等に発現しないケースもあるということが指摘されている（平田，2014）。

③ 性的嗜好

個人が性的に満足する、または性的に興奮するために必要とする、空想を含む刺激のことを指す。性的興奮を得ようとするすべての人にとって固有のものであり、同意の成立した人間との間で行われる性器接触やその空想も、性嗜好のひとつである。その他、窃視、露出、窃触、性的マゾヒズム／性的サディズム、小児性愛、各種フェティシズムなど、様々な嗜好がある。個人の有する性嗜好は、他害に及ぶなどの社会通念上好ましくないことが行われない限りにおいて、尊重されるべきである。

④ 性的反応

性交等の性的状態における身体および心理的反応を指し、欲求相、興奮相、絶頂相、解消相の四段階に分かれる（針間，2014）（2）。

⑤ 生殖

生殖能力（産める・産めない）の問題と、生殖意思決定（産む・産まない）の問題に分けて考えられる（針間，2014）（2）。

⑥ （内的な）ジェンダー体験

「私は男だ」「私は女だ」「私は男でも女でもない」「幼少期は女だったが、今は男の自分を生きている」など、個人がどのようなジェンダーを抱えている（抱えてきた）か、すなわち、内的に経験されるジェンダーのことを指す。「性同一性」が他者から客観的に判定されうるものであるのに対し、「ジェンダー体験」は、人間一人一人に固有のごく主観的な「体験」として捉えた表現である。

⑦ ジェンダー役割（内面化されるジェンダー体験）

「男（あるいは男の子・男性）は〇〇であるべき」「女（女の子・女性）なら〇〇でなければならない」といった、指定された特定のジェンダーへ向けられる、社会・文化的な影響を含む役割期待、ないし規範性のこと。

たとえば、「男性は化粧をするべきではない」「女性は化粧をしなければならない」というジェンダー役割が一般的である文化のなかで、ある男性が化粧をし、ある女性が化粧をしなかった場合、それぞれに対し「男らしくない」「女らしくしなさい」などといった同調圧力がかかる場合がある。そもそもジェンダー役割は、誰が定めたものでもない「マイルール」に過ぎないが、その「マイルール」が多くの人によって反復、実践されることによって、あたかも「社会のルール」であるかのように強化され、個々人を縛り、内面化されていく。

⑧ ジェンダー表現（外的なジェンダー体験）

身体的な外見や衣服の選択、しぐさなど、自ら発する（あるいは自ずと発される）表現様式のこと。内的な経験としての「体験するジェンダー」に対し、「ジェンダー表現」は外的な表出を指す。社会から個へ受動的に取り込まれる（またときに他者へ投影する）ものとしての「ジェンダー役割」に対し、個から社会へ能動的に表出されるのが「ジェンダー表現」である。

たとえば、ある髪の長い男性Aが温泉旅館の受付に立ったとき、受付の担当者Bから、男性向けのブルーの浴衣ではなく女性向けのピンクのそれを渡され、女性風呂の入浴時間について説明を受けたとする。Aを女性であると勘違いしたBの反応は、「男性は髪が短く、女性は髪が長いのが普通である」「女性にはピンクの浴衣を渡し、男性にはブルーの浴衣を渡すのが好ましい」というB自身のもつジェンダー役割に由来するものであって、A自身の髪の長さがどのようなジェンダー表現に由来するかは一切考慮されない。「ジェンダー表現」は、このように、他者のもつ「ジェンダー役割」との間で齟齬を生む可能性がある。

⑨ 恋愛の指向

どういったジェンダー／セクシュアリティをもつ人に対して感情的に魅力を感じる

か、愛情を感じるかを指す。

セクシャリティ／ジェンダーを巡るカテゴライズ

※自身のセクシュアリティを表すのに適切な言葉が見当たらないのだとすれば、新しくつくればよいのであって、今ここに示したいくつかのセクシュアリティのどれかに帰属すればよい、あるいは当てはめればよい、というものではありません。

〔指定されたジェンダー〕と〔ジェンダー体験〕が一致している場合

「シスジェンダー (Cisgender)」と呼ばれる。〔指定されたジェンダー〕と〔ジェンダー体験〕との間にずれのない状態として仮定され、トランスジェンダーに対してシスジェンダーは「マジョリティ」である。接頭語「cis-」は、「こちら側」「同じ側」を意味する。

〔ジェンダー体験〕とは反対の性別への〔性的指向〕をもつ場合

「ヘテロセクシュアル (Heterosexual)」ないし「異性愛」と呼ばれる。〔ジェンダー体験〕が男性なら女性へ、女性なら男性へ指向する。〔性的指向〕という切り口においてヘテロセクシュアルは「マジョリティ」であるといえる。接頭語「hetero-」は、「他の」「異なった」を意味する。

〔指定されたジェンダー〕と〔ジェンダー体験〕ないし〔ジェンダー表現〕が異なる場合

「トランスジェンダー (Transgender)」と呼ばれる。「LGBTQ」の「T」にあたる。〔指定された性別〕に対するなんらかの不一致感から、〔指定された性別〕とは異なるなんらかのジェンダーを〔体験〕し、ときに〔表現〕する。なんらかのジェンダーには、〔指定されたジェンダー〕とは反対のジェンダーである場合と、「男」と「女」のいずれにも該当しないジェンダー、いわゆる「X ジェンダー」「ノンバイナリー (Non-binary)」「ジェンダークィア (Genderqueer)」の場合などがある。前者のうち、〔指定されたジェンダー〕が「女」で〔ジェンダー経験〕が「男」の場合を「トランス男性 (Transboy, Transman)」もしくは「FtM (Female to Male)、逆に〔指定されたジェンダー〕が「男」で〔ジェンダー経験〕が「女」の場合を「トランス女性 (Transgirl, Transwoman)」もしくは「MtF (Male to Female)」ということがある。接頭語「trans-」は、「向こう側」「他の側」を意味する。

〔ジェンダー体験〕と同一のジェンダーへの〔性的指向〕をもつ場合

「同性愛」と呼ばれる。特に、「女性」の同性愛を「レズビアン (Lesbian)」といい、「男

性」の同性愛を「ゲイ (Gay)」という。レズビアンが「LGBTQ」の「L」、ゲイが「LGBTQ」の「G」にあたる。レズビアンとトランス男性、ゲイとトランス女性とは混同されやすいが、同性愛であることとトランスジェンダーであることとは、性質のまったく異なる問題であるから、注意が必要である。

[ジェンダー] と同一、ならびに反対のジェンダーへの [性的指向] をもつ場合
「バイセクシュアル (Bisexual)」ないし「両性愛」と呼ばれる。「LGBTQ」の「B」にあたる。接頭語「bi-」は、「二つ」「両方」を意味する。つまり、「男」と「女」の両方に性指向が向くのがバイセクシュアルである。

誰に対しても性的魅力を感じない、[性的指向] をもたない場合
「エイセクシュアル (Asexual)」と呼ばれる。ヘテロセクシュアルやホモセクシュアル、バイセクシュアルなど、なんらかの [性的指向] をもつことが当然視される社会において、エイセクシュアルはマイノリティである。接頭語「a-」は、「非」「無」を意味する。

[ジェンダー体験] を含むあらゆるジェンダーへの [性的指向] をもちうる場合
「パンセクシュアル (Pansexual)」と呼ばれる。接頭語「pan-」は、「すべて」を意味する。

[性的身体の差異] が典型的でない場合
「性分化疾患 (Disorders of Sex Development, DSDs)」という医学用語で説明される。単一の疾患名ではなく、60 種類を超える症候群の総称である。従来は、性分化疾患を抱える当事者に対し、可能な限り早期にいずれかの [性的身体の差異] へ近づける治療を行うべきとされてきたが、1990 年代後半以降、多様な [性的身体の差異] のあり方を尊重すべきとの考え方も興っている (針間, 2014)。典型的な [性的身体の差異] をもつ人々と同じように、DSDs 当事者の多くはシスジェンダーであるが、トランスジェンダーもいる。DSDs が指し示すのは [性的身体の差異] の非典型性のみであって、DSDs 当事者のジェンダーを一様に「男でも女でもない」と規定するのは誤りである。

自身の [性的指向] や [ジェンダー体験] がわからない場合
「クエスチョニング (Questioning)」と呼ばれる。